

2016年度目録委員会記録 No.8

第8回委員会

日時：2016年12月17日（土）14時～17時

場所：日本図書館協会

出席：渡邊委員長、木下、田代、津田、野美山、平田、村上、横山

<事務局>磯部

[配布資料]

1. 刊行に向けてのメモ（2016.12.17現在）（7ページ-A4）（渡邊委員長）
2. 図書館雑誌原稿「日本目録規則 2018年版」（仮称）の完成に向けて」（4ページ-A4）（渡邊委員長）
3. 説明聴取会記録（株式会社図書館流通センター）（4ページ-A4）（津田委員）
4. 説明聴取会記録（株式会社トーハン）（4ページ-A4）（津田委員）
5. 説明聴取会記録（国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課）および新 NCR ヒアリングメモ（5+1ページ-A4）（津田委員）
6. 用語表現検討リスト（36ページ-A4）（田代委員）
7. 表記統一（5ページ-A4）（田代委員）
8. 付録#A.1 片仮名表記法（10ページ-A4）（村上委員）
9. 用語解説 統合リスト（17ページ-A3）（河野委員）
10. 2016年度第7回目録委員会記録（案）（6ページ-A4）
11. 2016年度第6回目録委員会記録（5ページ-A4）

[報告事項ほか]

1. 議事録の確認

2016年度第7回目録委員会記録（資料10）について確認した。

2. 新 NCR の刊行に向けて

資料1、2に基づき、スケジュールの確認や、検討集会等についての議論を行った。

- ・委員会とNDLの合意案（暫定案）として公開する予定の範囲につき、今後のスケジュールと作業内容を確認した。1月中に最終確認のうえ、2月上旬に公開の予定。
- ・検討集会について。
 - 広報は、委員会のウェブサイトと『図書館雑誌』12月号で告知済み、『図書館界』1月号に記事を掲載する予定。
 - 検討集会（東京）の告知については『図書館雑誌』3月号に掲載予定とする。
 - 報告者については、当日出席可能な各委員が分担をして報告を行なうこととする。

3. 関係機関との調整について

株式会社図書館流通センター、株式会社トーハン、国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課への新 NCR に関する説明聴取会記録（資料 3、4、5）をもとに、3 機関からの疑問や意見について確認した。

[検討事項]

1. 用語表現検討リスト、表記統一

資料 6、7 に基づき、全体条文案公表に向けた作業方針について、議論した。

●用語表現検討リスト

・今回の修正作業では、「場合／とき」のように一般的な語については網羅的な修正作業を行わない。専門的な用語については、できる限り反映をはかる。用語表現リストには、一度検討し結論が出なかったものが多い。これらは条文案でコメントを付していることも多いことから、性急には結論を出さないこととする。

●表記統一

・条文案には完璧に反映はできていないが、表記統一のリストでは意味の取違はしていないことを確認した。

2. 片仮名表記法

資料 8 に基づき、次のとおり議論した。

・#A.1.1.5 その他の「ヂ」「ヅ」を単体で条項を立て、#A1.1.6 歴史的仮名遣いを#A.1.1.5 その他に入れ込み、a)歴史的仮名遣、b)「ヰ」「ヱ」「ヲ」、c)「ワゝ」「ヰゝ」「ヱゝ」「ヲゝ」のように構成を変更することを検討した。

・#A.1.2 の例示「T.S エリオット試論」は、「ティー・エス・エリオット シロン」のピリオドについて現 NCR に合わせた形で削除し、「ティー エス エリオット シロン」のようにすることを検討した。

・上記の#A.1.2 の例示の検討の結果、属性総則#1.12.2.2 に修正の必要があることを確認した。

・付表の第 1 表と第 2 表について、文部科学省で公開されている最新版に合わせた形に規定する。

3. 用語解説

資料 9 に基づき、次のとおり議論した。

・用語解説の解説文は新 NCR の条文案に合わせた解説文にし、条文案と異なる表現にした場合は備考に条文案の修正の必要あり等を記載する。

・NCR87 から採用した用語は、NCR87 の解説文をもとに新 NCR の文章表現や語彙に合わ

せた形で解説文を記載する。

- ・見出し語を変更した場合は備考に変更した旨を記載する。

例：有体資料→有形資料

- ・製作者の RDA のエレメント名は **manufacturer's name** だが、定義としては、製作者そのものと、その名称と、どちらを対象とするのかについて、検討した。「製作者」の定義は「～個人・家族・団体またはその名称」とする。「並列製作者」のように目録データ内のみで認識されるものは、「～個人・家族・団体の名称」等とする。

- ・実体、物など FRBR に由来する語は、序説・総説などで特に定義していない。FRBR を参考にして作成する。

- ・注記については、注記の条項を全て解説文に入れると長くなるので「～として記録しなかった情報を提供する注記。」等にする。

次回以降の委員会の予定

2017年1月21日（土）

2月25日（土）

3月25日（土）

以 上